

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		EARTH ROOM(児童発達支援)				公表日	令和8年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		子供たちの利用時間や支援内容に応じたスペース確保ができています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の配置基準を守り、加算要件を満たす人員配置を行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			必要に応じて安全対策を考え、その都度臨機応変に対応していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	毎日の掃除、整理整頓はできています。	環境面での改善点に早急に対応し、リスク管理を常に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		状況に応じて、臨機応変な対応ができています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		PDCAサイクルを心掛け職員ミーティングや自己評価表の実施において、現状の把握・課題・業務の見直しを図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年、保護者様へのアンケートの実施にて、意見を参考に改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員全体会議・個別会議を豊富に行っており、意見交換の場とし、検討・改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2		他事業所の見学や研修等を行い、情報共有・相乗効果に繋げていきたい。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページにて支援プログラムを公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		児童と保護者のニーズや課題を把握・分析した上で個別支援計画書を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		関わるすべての職員で支援計画会議を行い、情報共有と共通理解を図っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		情報共有を徹底しており、個別計画書がいつでも確認できるように管理されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		保護者面談を行っており、ニーズの把握・更新など行ったうえでアセスメントを改善しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインに沿った支援内容を踏まえて個別支援計画に反映・設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	全ての職員がプログラムの立案に参画し、児童の状態に合わせて役割やサポートの仕方を協議しています。	チーム全体での協議機会を今後増やし、全体での共通理解を徹底していきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		児童の特性とニーズを鑑みて、音楽・運動・絵画・工作・料理等、多彩な療育プログラムにて立案しています。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		職員間での情報共有を徹底した上での実施ができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		終礼ミーティングにて、情報の共有やヒヤリハットについて協議し、未来の支援の糧としております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	児童発達支援管理責任者や管理者、担当者など適任者を選出し参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		関係機関との密な連携を図り必要に応じて迅速に会議を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		在籍園との併行通園や移行に向けての日程調整等、保護者や関係機関との連携を図り、インクルーシブな支援を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		移行に向けて、情報共有を行い必要に応じて移行支援会議を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	5	児童が発達検査や知能検査を受けた場合には、その報告書を提出頂ける様にご協力をお願いしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	地域のイベントなどに参加し地域の子供たちとの交流を図っている。	他の保育所や幼稚園との交流機会も子供たちの活動範囲の拡大ということで取り入れていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		日程調整の都合など考慮した上で、家族参加行事を取り入れていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明を行っており、またご不明な点がある場合には随時説明を再度行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		児童と保護者のニーズや課題をしっかりと把握・分析した上で個別支援計画書を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		根拠となる状況に触れながら具体性をもって個別支援計画書を提示し支援内容について説明しております。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		常にご相談しやすい環境作りに励んでいますが、より良い体制構築と周知の強化を図っていきたく思います。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		8		夏祭りイベント等を通じて、様々な環境におかれる児童たちとの交流を図っていますが、きょうだい向けのイベントの開催はできておらず、今後検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			情報漏洩の観点から、SNSなどは行っていませんが、ホームページを通じて活動や支援方針等の情報を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			全職員が入社時に、守秘義務の契約書を交わしており、個人情報の漏洩に十分に留意している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			言葉とサイン、視覚補助的教材を使用するなどして伝達方法を工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			各マニュアルについては規定に則って正しく策定され、周知しています。研修や訓練についても安全計画を軸として計画し実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			職員による災害時の避難手順や経路確認等、BCPに沿った研修・訓練の実施を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			看護師の指示のもと入所時に健康状態の確認（バイタル表の作成）を行っており、日々異変などがあれば迅速に対応しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			看護師を筆頭に指示書に基づく対応を行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練等、適宜実施しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			安全計画に基づき感染症や怪我などについての注意喚起や事業所の取組についてしっかりと周知しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			危険な事例があった場合には報告書に記載しスタッフ全員で共有するとともに再発防止に努めております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			外部研修に参加する等にて、虐待への理解を深め、職員の資質向上に繋げております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8			身体拘束適正化委員会を設置するとともに、適正な実施と必要性などの検討をする場を設けています。	